

# 2019 年度

## アメリカ留学報告書

実習先 セントラル・ミズーリ大学

実習期間 8月22日～12月12日

新潟国際情報大学  
国際学部国際文化学科  
学籍番号 21018100  
藤塚真生人

## 目次

1. 留学先および留学期間	-----	3
2. 留学先概要	-----	3
3. 留学の目的	-----	3
4. 留学のスケジュール、内容	----	3
5. 目的、目標への達成度	-----	5
6. 反省、課題	-----	6
7. 謝辞	-----	6

## 付録

留学日誌	-----	7
------	-------	---

## 1 留学先および留学期間

留学先：セントラル・ミズーリ州立大学

留学期間：8月22日（木）～12月12日（水）

※出国は12日（木）、帰国は13日（金）

## 2 留学先概要

### （1）大学について

セントラル・ミズーリ州立大学は、1871年にミズーリ州にあるウォレンズバーグ市に建設された。治安的にも安全な場所であり、広いキャンパス内には映画館やスポーツジムや舞台などがあり、他にも様々な施設が存在している。アメリカ内だけでも約40州、世界では約50か国の留学生がこの大学に在籍している。

### （2）大学で行われている教育について

セントラル・ミズーリ州立大学ではIEP（Intensive English Program）と呼ばれるものがあり、テストを通して9つのクラスに留学生たちは分けられる。そのため、各個人の実力に応じたプログラムが受けられる。授業によってはアメリカの歴史や日本との関係などを学ぶこともあり、その場合にはクラスで分けられることはない。

## 3 留学の目的

今回の留学における目的は、総合的な英語力の向上とTOEICの点数を上げることだ。海外での日常生活では必ず英語が必要となってくるため、聞き取る力や会話能力の向上に繋がると考えた。また、親元から離れることによって自立的な生活をするのできるのではないかと考えたからである。アメリカでの生活を通して異文化交流をし、知見を広めることも今回の重要な課題だった。その他にも慣れない地で他国の人と親しくなるコミュニケーション力の向上など、そのような理由から今回の留学に参加した。

## 4 留学のスケジュール、内容

### （1）スケジュール

月	日（曜日）	内容
8月	22日（木）	到着、入寮
	23日（金）	クラス分けテスト、オリエンテーション
	24日（土）	地域案内
	26日（月）	授業開始
	29日（木）	ゲームセンターやショッピングへ
9月	13日（金）	野球観戦
10月	3日（木）	ミュージカル鑑賞

10月	17日(木)	ボーンファイア
	18日(金)	カンザスにてショッピング
	31日(木)	ハロウィンパーティー
11月	7日(木)	サンクスギビングディナー
	21日(木)	映画鑑賞
	23日(土)～	サンクスギビングブレイク
12月	6日(金)	美術館とショッピングプラザへ
	11日(水)	セレモニー
	12日(木)	米出発
	13日(金)	日本到着

## (2) 時間割と授業内容

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
Reading	Communication	Reading	Communication	TOEIC
Writing	Grammar	Writing	Grammar	Japan and US relationship or American History
Pronunciation	American Culture	Pronunciation	Grammar Lab	
		Writing Lab	American Culture	

### Reading

長文読解と単語暗記がメインの授業。CommonLit というサイトを使って長文を読む力を鍛えることができる。

### Writing

正しい文章の書き方やエッセイの書き方について学ぶ授業。決められた時間内にテーマを決めてエッセイを書くタイムドエッセイ、自分で決めたテーマについて調べて書くエッセイもあった。

### Communication

プレゼンテーションやディスカッションなどが主に行われる授業。自分の意見を臆せずに言う力を身に着けることができる。

## **Grammar**

文法を学ぶ授業。基礎的な内容が多いため、ほとんど復習感覚で学ぶことができる。

## **Pronunciation**

英語の発音について学ぶ授業。舌や唇の動かしの方など細やかな点まで学ぶことができる。

## **American Culture**

アメリカの文化について学ぶ授業。特別講師の話聞くことや、アメリカの文化についてどのような意見を持っているかなどを発表することもある。また、留学生たちで行うパーティーの計画や準備をすることもあった。

## **American History**

アメリカの歴史について学ぶ授業。話を聞くだけではなく、絵本からアメリカの情勢を読み取る課題などもあった。

## **Japan and US relation**

日本とアメリカの関係について学ぶ授業。レポートでは自分でアメリカと日本の関係の特徴を調べて書くなどした。

## **5 当初の目的、目標達成度**

留学の目標達成度についてまとめる。

### **1. 総合的な英語力の向上**

英語が母国語の国に 4 か月も身を置くことで、リスニング力や筆記的な力は格段に向上させることができた。話す力も留学前と比べれば確実に伸びたのだが、話しかけられた時など瞬発的に単語が出てこなかったことなどがあり、語彙力のさらなる向上が求められる。TOEIC の点数は留学前よりも上がっており、良い結果であったと言えるだろう。

### **2. 自立的な生活**

洗濯や掃除など自分でやらなくてはいけないものは自力でしっかりとやっていたが、料理などは食堂で用意されていたのばかり食べていたため、完全に自立的な生活が送れていたとは言い難い。

### **3. 異文化理解**

留学中のイベントや交流を通して多くの他国の文化に触れることができた。留学当初は慣れない文化などもあり、カルチャーショックを受けることもあったが、次第に受け入れられるようになった。

### **4. コミュニケーション力の強化**

共通の話題を持っているような人達とは話すことはできたが、やはり英語に対する自信のなさから自分から話しかけることなどは難しかった。

## 6 反省、課題

当初の目的を踏まえると至らないところが多く、自主的な行動ができなかったなど今回の留学で反省すべき点は山のようにあると考えている。今後の課題としては今回の留学で知った積極性の欠如など自己の欠点の改善、そして単語力をより向上させることだ。学習を一度怠けてしまえば簡単に頭から抜けて行ってしまうため、今後も継続的に英単語などを復習することが重要な課題だ。

## 7 謝辞

今回の留学を後押ししてくだだった両親、そしてセントラル・ミズーリ州立大学にて特にお世話になった Jill 先生や Valerie 先生、ビザの取り方やアメリカに着くまで引率して下さった新潟国際情報大学の先生方や学務課の方々に心から感謝申し上げます。今回関わってくださった皆様のおかげで 2 度とない貴重な体験ができ、人としての成長、また学力的にも大きな成長を遂げることができたと考えております。最後に新潟国際情報大学から頂いた奨学金で非常に貴重な体験ができたことを心から感謝いたします。

## 付録 留学日誌

12月6日
カンザスシティ
担当 Jill 先生
内容 美術館鑑賞 ショッピングプラザに行く

### 感想

ネルソンアトキンス美術館には様々な国の芸術品が展示されており、とても興味深かった。日本の甲冑や仏像なども展示されていた。その後のショッピングプラザでは家族用のお土産を探していたが、なかなか良いものが見つからず苦労した。



12月11日水曜日
セントラル・ミズーリ州立大学
留学担当の先生方
内容 卒業セレモニー 先生と生徒のスピーチ 卒業証書の授与式

## 感想

セレモニーの間は漸く全行程が終わったという達成感ともうすぐここを去ってしまうという寂しさで半々の気持ちを抱えていた。セレモニーには先生方の他にも様々な関係者の人々が参加していた。制作を手伝ったこれまでの記録写真のスライドショーが流れたときは今までのことを振り返った。最後に留学中に仲の良かった人と写真を撮り、留学生と先生全員で集合写真を撮った。

